

凸版印刷、リアル×VRで従業員の安全教育

ローラーへの「巻き込まれ」をリアルとVRで体験できる「巻き込まれ体感機 for VR」を開発
「トッパングループ安全道場」に設置し、従業員の安全教育に活用

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨秀晴、以下 凸版印刷)は、グループの従業員一人ひとりの危険に対する感受性を養うことを目的として、安全に関する体感教育ができる施設「トッパングループ安全道場」を2010年より開設しています。

今回、凸版印刷は従業員一人ひとりの安全に対する意識向上を目的に、ローラーへの巻き込まれを体験できるVRコンテンツと、映像と連動して実際に巻き込まれの疑似体験ができる「巻き込まれ体感機 for VR」を開発しました。これを利用することで、従来以上に危険を体感することができ、危険予知能力を身につけ、労働災害を未然に防ぐ教育をより高い効果で実施できます。

なお「巻き込まれ体感機 for VR」は、トッパン研修センター(所在地:埼玉県川口市)内の安全道場に設置し、2019年8月より本格稼働予定です。

凸版印刷は今後も、労働災害ゼロに向けて安心して働ける職場環境を永続的に維持していきます。また「巻き込まれ体感機 for VR」をはじめ、VRを活用した防災・減災ソリューションの開発・販売を進め、安全・安心な社会の実現に向けて貢献していきます。



安全道場に設置された「巻き込まれ体感機 for VR」

© Toppan Printing Co., Ltd.

■背景

近年、製造業の生産現場において、AIやIoTなどの導入による製造プロセスの高度化や省力化が進むにつれて、危険要因が見えにくくなり、従業員の危険に対する感度が薄れてしまうことが課題となっています。

今回、凸版印刷は従来培ってきたVRを活用したデジタルコンテンツの開発・提供実績を活かして「巻き込まれ体感機 for VR」を開発。利用者はヘッドマウントディスプレイ(HMD)を装着し、ローラーに巻き込まれる様子を再現したVRコンテンツを見ながら、映像と連動して手がローラーに巻き込まれる疑似体験が可能です。巻き込まれ事故の怖さや危険性を、VRコンテンツとリアルな巻き込まれ体感を組み合わせることで、より教育効果の高い安全指導を実現しました。

■「巻き込まれ体感機 for VR」の特徴

- ・VR映像と連動した、巻き込まれ体験が可能

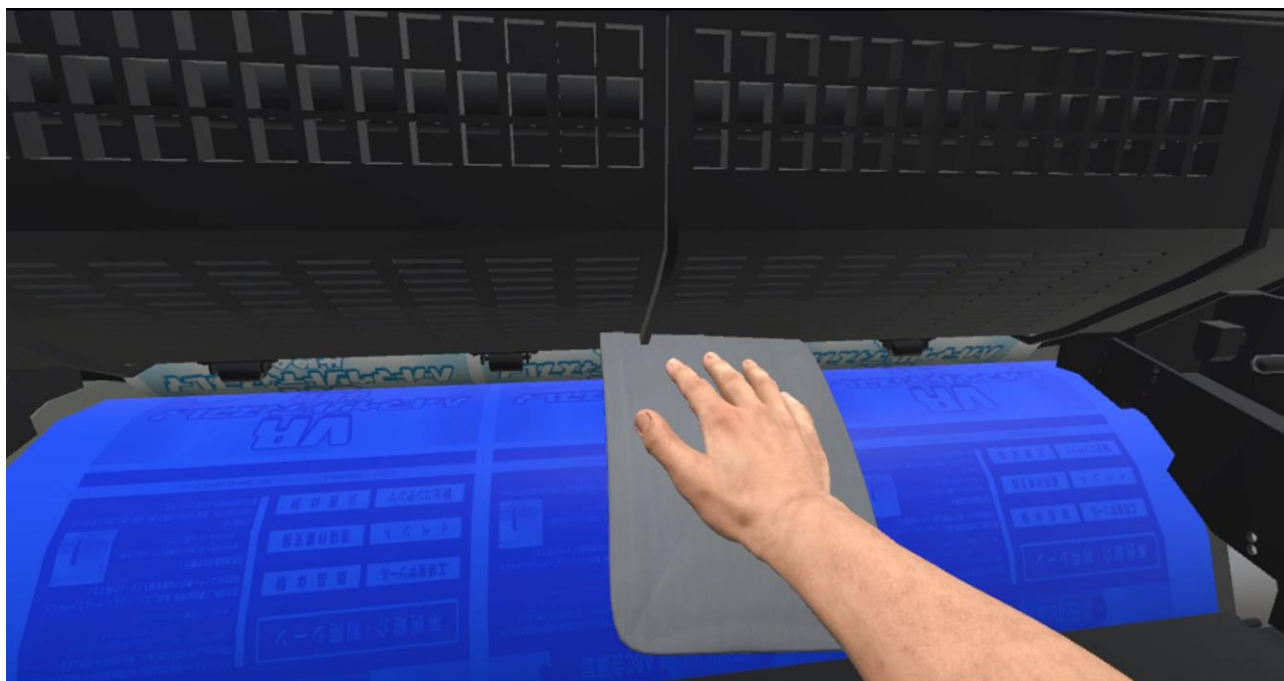
印刷機(オフセット輪転機)と、インキや水を付けたりする印刷ローラーをVR映像により忠実に再現。誤った作業を行いローラーに巻き込まれてしまう映像をみて、労働災害の危険性を目と耳で体感できることに加え、実際にローラーに自分の手が巻き込まれる衝撃を映像と連動して体感することができ、安全な作業の重要性をより効果的に学ぶことができます。

- ・巻き込まれ労働災害の重篤度を体感することが可能

実際にローラーに巻き込まれると、自分の手はどうなってしまうのかをVR映像で再現。労働災害の悲惨さを強く体感することができます。従来は言葉や映像だけでしか伝えることができなかった労働災害の怖さ、悲惨さを、身をもって体感することで、安全意識の向上を図ることができます。

- ・短時間で安全作業の重要性を学べる

いままでは、ローラーに巻き込まれることの危険性や安全作業の重要性を説明し、理解させるまでには相応の時間を必要としていました。しかし「巻き込まれ体感機 for VR」では、約1分程度の短時間で労働災害を未然に防止する必要性を自己学習がすることができます。



「巻き込まれ体感機 for VR」のVRコンテンツ

© Toppan Printing Co., Ltd.

■凸版印刷の安全に関する取り組みについて

凸版印刷では、2010年6月に「安全衛生基本方針」を策定し、災害ゼロに向け全事業所が取り組む活動内容を明確にするとともに「事業活動を行うにあたり最優先すべきは安全である」と、強く宣言しました。また、安全に強い人財を育成するとともに、安心して働ける職場環境を永続的に維持するため2010年に安全に関する体感教育ができる施設「トッパングループ安全道場」をトッパン研修センター(所在地:埼玉県川口市)に開設し、2019年現在で社内外合わせてのべ約30,000人が体感受講しています。現在、「トッパングループ安全道場」は滝野工場(所在地:兵庫県加東市)、福岡工場(所在地:福岡県古賀市)、Siam Toppan Packaging Co., Ltd.(本社:タイ・サムットプラーカーン)、Toppan Leefung Packaging & Printing (Dongguan) Co., Ltd.(本社:中国・広東省)を含む5ヶ所に開設しています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上